

# 米軍訓練等の受け入れ拒否を



吉村知事(左端)に申し入れる(右から)本間県委員長、ゆり子県議、笹山県議団長=21日、県庁

私たちは、申し入れの中で、受け入れには沖縄と同様の(騒音などの)県民負担のおそれがあること、沖縄の普天間基地存続を前提にした訓練受け入れは許されな

いこと、沖縄の海兵遠征隊は日本を守るべきではないか、抑止力がある、イラクやアフガニスタンへ展開する部隊となつている点などを指摘しました。

## 全国知事会に先立ち 吉村知事に申し入れ

日本共産党山形県委員会と県議団は21日、吉村美栄子知事に対し、27日開かれる全国知事会で「米軍訓練等は受け入れないこと」、および「米軍普天間基地の無条件撤去」を表明するよう申し入れました。



2010年5月30日 第97号

発行 日本共産党県議会議員 渡辺 ゆり子

<連絡先> 日本共産党県議団執務室 電話 023-630-3241(受付) 自宅: 山形市青田2-10-5 電話 023-642-2365

23日、沖縄を訪問した鳩山首相は、米軍普天間基地を辺野古付近にと表明し、沖縄県民から怒りと抗議の声をあびせられました。稲嶺進・名護市長は「実現可能性はゼロに近い」

と表明しました。日本共産党の志位和夫委員長がアメリカ政府に主張したように、戻ることができない歴史的局面上に立っています。普天間基地閉鎖・無条件撤去を、沖縄県民だけでなく日本全体の声として響かせましょ

## 公立高校授業料無償化 徹底し、さらに前へ

日本共産党県議団は21日、県に対し、「公立高校授業料無償化に伴った諸課題に対する要望」を行い、渡辺一夫・教育庁総務課長が応対しました。

渡辺課長は、について、規則を検討中であるが一律に対象外とすることはしない、について、振替手数料は今後も県が負担する、について、低所得者対策については当初、国で議論されていた給付制奨学金などの動向を見ていきたいと述べました。

内容は、高校生の学ぶ権利を保障する観点から、国の制度で対象外(留年など年限を超える場合)となる生徒にも無償化を実施すること、授業料以外の学校徴収金にかかる振替手数料は、従来通り県が負担すること、低所得者に配慮した施策を行うことの3項目です。

党県議団は、「授業料が無償となっても、それ以外の教育費負担が大きい。県としても、返還しなくともよい給付制奨学金など、低所得者に配慮した施策を国に要望してほしい」と要請しました。

## 森林シンポジウム開催

党県委員会・県議団など共催

日本共産党東北ブロック

事務所と山形県委員会、県議団は22日、「森林と林業の再生を考えるシンポジウム」を西川町で開催、林業関係者や市民が参加しました。



## 森林と林業の再生へ 真剣討論

森林面積が9割という西川町の小川一博町長が歓迎のあいさつを行いました。高橋ちづこ衆院議員が主催者あいさつ。パネリストとして、日本共産党農林・漁民局長

の紙智子参院議員、古沢良彦・西村山地方森林組合常務理事、佐藤新・県森林課木材利用対策主幹、三森和裕・全国森林インストラクター会副会長の4氏が、それぞれの立場から発言し、笹山一夫県議団長がコーディネーターをつとめました。会場から9人が発言し、林業経営が成り立つような行政支援や担い手育成の要望、森林の役割と位置づけの引き上げ、木材利用についての可能性など、活発な質問や意見が交わされ、森林と林業に関わる認識を深める良い機会となりました。

## ゆり子の視点

### 公立高校授業料無償化に

公立高校授業料無償化に関わる申し入れにあたり、県議団で手分けして高校への訪問や聞き取りを行い、私は霞城学園高校にうかがいました。

## 学ぶ権利の保障

単位制、定時制、通信制の機能を持つ高校で、年代も状況も様々な生徒が学んでいます。3年で卒業して大学へ進学する人もいれば、アルバイトをしながら学んでいる人もいます。私の友人にも、10年近くかかって通信制を卒業した方がいます。

教職員の方々も、生徒の相談やフォローに力を入れている様子です。校長先生のお話では、卒業式はとても感動的で、涙で廊下がぬれていたそうです。しかし、就職希望の生徒には、一層きびしい現実があり、現在も正職につけず、アルバイトを続けている卒業生もいるとのことでした。こういう中で、霞城学園高校が果たしている役割は、大きいものがあると感じました。学びたい、生きていく力をつけたいと思っている人たちにとっての希望の場所であり、学ぶ権利を保障する場となっています。